

氏名	丸 富 勝 美		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 4 9 8 号		
学位授与の日付	昭和47年 3 月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	血液透析に関する実験的並びに臨床的研究 —特に透析合併症に関して—		
論文審査委員	教授 田中早苗	教授 小坂二度見	教授 平木 潔

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

血液透析に関する合併症として特に第1回目の透析中あるいは透析直後に、頭痛、嘔気けいれんなどを伴う Disequilibrium-Syndrome がある。これは血液と脳脊髄液との尿素窒素除去差にもとづく滲透圧勾配の結果起るといわれてきた。この現象を解明するため実験的尿毒症状を用いて血液透析を施行し体液化学組成の変動を追求し又一方臨床面では40例の腎不全患者を対象として本症発生と種々の誘因（透析装置、時間）について検討を加えた。

本症発生に関しては滲透圧勾配のみでこれを説明づけるのはあまりにも他の因子が多く、滲透圧をも含めて電解質、酸塩基平衡などあらゆる因子が本症発現に関与しているものと思われる。臨床例では効率（透析）の良いものほど、透析前の患者の状態の悪い者ほど多く発現している。すなわち体内環境の急激な変動が本症発生に重要な因子となっている。従って本症を防止するには特に第1回目の透析は短時間、低流量をおこなうべきである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、血液透析に際して遭遇することのある Disequilibrium Syndrome の解析および、その対策に関する実験的並びに臨床的研究であり、その発生因子を解明し、あわせて予防対策について明らかにした極めて価値ある業績である。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。